

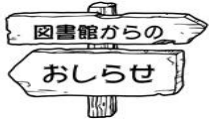


Library だより



令和5年12月5日発行
亀山小学校図書館

寒い日が続いており、冬の訪れを感じられるようになってきました。街ではキラキラとイルミネーションも見られ、心を浮き立たせる季節となりました。さて、2023年もあとわずかですが、心に残る本とのすてきな出会いはありましたか。出会えた人も出会えなかった人も、2023年最後の日まで本との出会い★を楽しんでください。



2学期の本の貸出について

12月						
				1	2	
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

7 ... 2学期最後の貸出日
数字 ... 2学期の本返却期間
数字 ... 冬休みの本貸出期間

2023ねん、たくさん本をかりにきてくれてありがとうございました★



❑ 冬休みの本が借りられる時間 ❑
図書館の時間だけ (言葉の教室の児童除く)



校内読書月間の取組 ～第3回亀山小学校ビブリアバトル～

11月28日(火)に第3回ビブリアバトルをテレビ放送で行いました。図書委員会の児童4人(1人休みで当日3人)がそれぞれ1冊ずつ本の紹介をして、聞いた後、全児童・職員に「一番読みたくなった本」を投票してもらいました。右の写真のように、図書館入口にコーナーを作っていますので、読みたくなった本をぜひ借りてみたり、紹介された本を全部制覇してみたりしてください。「チャンプ本」は、「3分後にゾットする話 世界惨劇ツアー」でした。



11月の貸出冊数



今年もあと少し、図書館へ行こう!

がくねん 学年	つきもくひょう 月目標 たっせいりつ 達成率	ひとりあ 1人当たりの かしだしさう 貸出冊数	ねんかほくひょう 年間目標 たっせいりつ 達成者数	がくねん 学年	つきもくひょう 月目標 たっせいりつ 達成率	ひとりあ 1人当たりの かしだしさう 貸出冊数	ねんかほくひょう 年間目標 たっせいりつ 達成者数
1年生	96%	33 冊	59(+17)	4年生	80%	18 冊	23(+14)
2年生	86%	22 冊	31(+16)	5年生	83%	19 冊	30(+12)
3年生	93%	19 冊	14(+7)	6年生	75%	11 冊	30(+11)

11月の読書月間、全学年たくさん本を借りてくれました。ありがとうございました。2学期本を借りられるのも、あと少しです。最後の日までぜひ、本を借りに来てください。



図書館クイズ

12月号はお休みです☺

保護者の皆様へ

The book is full of treasure

～ 家族で宝さがしに行こう～



もうすぐ冬休みが始まります。子供たちは、ゆっくりと過ごせる時間が増えると思いますので、ぜひ「質」を高めた読書をしてほしいと思います。

「質の読書」へ

参考： 鹿児島県立図書館主催「読書の魅力を伝える活動推進研修会」講演資料 より

現在必要とされている力… 思いやり・我慢する力・コミュニケーション力
= 「質の読書」で養われる。



子供たちに起き始めている「危機的状況」



- 1 「効率性」重視の価値観への盲従。（＝「じっくり深く考えること」・「生活すること」の喪失。）
- 2 「スマホ」依存。（1分程度の短い刺激の繰り返し）＝落ち着いて考える集中力の欠如などによる内省する力・我慢する力・自律性の弱体化。
- 3 「表層的思考」に留まる子供の増加。（＝深掘しない傾向、面倒くさがる傾向の助長。）
- 4 語彙の貧困化によるコミュニケーションへの障害や短い言葉による表層的なコミュニケーション。
- 5 デジタル機器に依存した生活による「脳力」の弱体化。



これらはすべて読書をすることで、高めることができる。また、読書の「質」を上げることでさらに高めることができる。

学校

「量の読書」

多くの知識や情報を得ることができる。
取組：目標冊数の設定。

「質の読書」

教養（よりよく生きるための知恵）を培う。
取組：図書時間でゆっくり読む。

現状として、時間の確保が学年が上がっていきにつれ、少なくなってしまう。そこで、家では、「質の読書」を！！



家

「質の読書」

低学年～中学年

→ 「ゆったりとした時間」の中で、作品の世界に没頭したり、理解・解釈・評価に、集中したりすることを体験してほしい。

高学年

→ 「ゆったりとした時間」の中で、じっくりと想像したり思索したりすることを通して、自分自身や世界・情報を見つめ直すことなどを実現してほしい。



家での「質の読書」の進め方

- ポイント ○
- 「ゆったりとした環境」の保持。
- 「愛情」の保持と「愛情に溢れた言動」の展開。
- 「会話内容」や「デジタル機器の使い方」への配慮。

特に、「質の読書」には、「読み聞かせ」が最適。

量や時間ではなく、「質」を重視し、短い時間でも「愛情」豊かに過ごせるかが大切。

読み聞かせをすることで、コミュニケーションの脳が働くことが、MRIで解明されている。

読み聞かせをすることにより、「側頭葉」が活発に働く。「側頭葉」にはコミュニケーションに必要な「聞く」ことに関係する部位が集まっている。また、人口音声より近しい大人の声が良い。